

繊維製品の紫外線遮蔽評価方法（JIS L1925）のご案内

繊維製品における紫外線遮蔽性は、従来から主に「紫外線カット素材の加工効果統一評価方法（日本化学繊維協会）」、または「オーストラリア・ニュージーランド規格（AS/NZS4399：2017）」にて評価されてきましたが、新たに2019年1月21日にJIS L1925としてJIS規格が発行されました。

JIS L1925では、紫外線遮蔽率及びUPF（紫外線防護係数）の測定方法が規定されています。

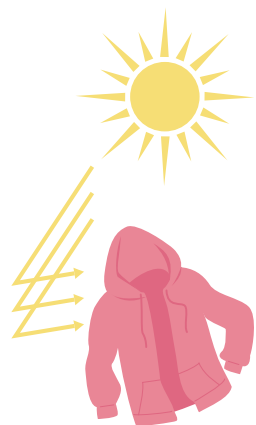
紫外線遮蔽率の測定方法

試料に波長290nm～400nmの範囲の紫外線を照射したときに何%遮蔽したかを算出します。
 紫外線遮蔽率（%）＝100－（290～400nmにおける試料の紫外線透過率）

UPFの測定方法

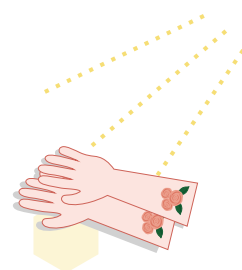
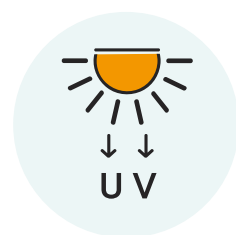
測定波長範囲は、290nm～400nmで、試料の分光透過率を測定し、太陽分光放射照度の相対エネルギー値や皮膚の影響度合いを表す値などを用い算出します。

UPFの格付け値は、表の通り10段階（AS/NZS4399:2017は3段階）で表し、数値が大きいほど紫外線を遮蔽する能力が高くなります。



UPF換算値	UPF格付け値※
55以上	UPF50+
50	UPF50
45	UPF45
40	UPF40
35	UPF35
30	UPF30
25	UPF25
20	UPF20
15	UPF15
10以下	UPF適用外

※ 製品用途に応じ、UPF格付け値及び／又は紫外線遮蔽率の実測値を適用します。
 注記）繊維製品の性能を評価するものではなく、製品に使用されている生地を評価するものです。



（参考）

UPFとは、Ultraviolet Protection Factorの頭文字を取ったもので、素肌で紫外線の影響を受ける時間に対し、例えばUPF30の衣服を着用すると素肌と同程度の紫外線の影響を受けるのに約30倍の時間を要する（紫外線の影響を受けにくい）ことを意味します。

カケンではJIS L1925の試験に対応しておりますので、ご依頼の際は最寄りの事業所・検査所にお問い合わせください。